

もう一度やってみたいあのコースあのホール



哀川翔(51歳)俳優

80年代に路上パフォーマンス集団・一世風靡セピアで活躍後、役者へと転向。男くさい役柄からコメディーまで硬軟交えた幅広い演技力で定評ある哀川翔さん。2004年には主演作品『00本を記録する』など今や押しも押されぬ個性派俳優だ。釣りや昆虫採集、車など多趣味で知られ、現在、月1ペースでラウンドを楽しむ。ゴルフ歴は25年を超える。

「馬の背」と呼ばれる難ホール

「ゴルフは23歳の頃からよね」
「そのコースが熊本県にアの本パーとだけで回ある「くまもと阿蘇カントリー」だ。ここ数年は安、トリッククラブ、湯の谷コースで100を切っている。1スだ。悪くても90台前半。熊本空港から車で40調子がいいと80台後半の分、標高650mの広大ときもあるよ。印象深かな阿蘇のカルデラ内にあつたコース？ 俺って、り、どのホールからも阿以前回ったコースをあん、阿蘇外輪山の雄姿が一望で、まの覚えていない方だけける。
ど、阿蘇にあるあのコース、3番ホールは通称「馬ス、特に3番の距離がたの背」と呼ばれる難ホール。若千の打ち上げからだけは忘れられないんだ。始まり、約2600ヤ地点

あの山を一度でいいから ロングドライブで越えてみたいのよ。 ど〜んと300ヤぶっ飛ばして...

くまもと阿蘇カントリークラブ 湯の谷コース 熊本県阿蘇郡 3番H(578ヤ パー5)



からフェアウエーは一旦距離と正確なショットが必要。だからかね、飛ラウンドするけど、3番平均飛距離230ヤばそう、曲げちゃいけない、と強く意識しちゃ240ヤの哀川さん、いなるであらうね、いつも力出たことがない。スコアをかんできたという。左に曲げると急斜面を登山道路の方まで転がり落ちちゃってOBになるでしょ。右には上り斜面があつてね、運良く途中の斜面に引っかかって、難しいアンジュレシーオンを残したまま、第2打でフェアウエーに戻すだけ。唯一、安全なのは狭いフェアウエー部分。ここに落とせば、か第2打をグリーン近くまで運べるよね。

「料理の鉄人」たちのコンペ

このコースでプレーするむことが第一なの。外え、落とし所が問題なるきつかけは、かつてのせ、だとか。OB出せ。の、左に曲げると急斜面を登山道路の方まで転がり落ちちゃってOBになるでしょ。右には上り斜面があつてね、運良く途中の斜面に引っかかって、難しいアンジュレシーオンを残したまま、第2打でフェアウエーに戻すだけ。唯一、安全なのは狭いフェアウエー部分。ここに落とせば、か第2打をグリーン近くまで運べるよね。

「ゴルフの鉄人」だ。う、ま、今年、料理のまいといえ、鉄人コンペ、が刻一刻と迫ってきた。哀川さん、一緒にプレーにはいられない。
「柳葉(敏)「ほら、この手のひらの郎)もうまか、まめ見てよ。毎日、家でた。アイツ、素振りしてる証しだよ。と回ったと、そうしないと、クラブへき、17ホール、自分の右手だといで全部ヤツにう感覚がなくなってくる負けて、18ホ、自らのゴルフチール目でやつ、中継見ながら、あく、今、勝ったなんて、だとか。こんな構えがないことあった。とか、1時間ぐらい素振り、え、俺のゴルフするの。ああ、キャリア、アより、楽しために。アッハッハ」